

ティーネのいいね！ドイツ

沼田市国際交流員が教えるドイツ

リサイクル

ドイツはゴミの分別によるリサイクルを大事にしている国として知られています。国によって、ゴミの分別やゴミ出しに関するルールも異なりますが、初めて来日したときは日本のゴミの出し方や、場所、そしてゴミ出しの時間に関するルールに驚きました。ゴミを出すため、目覚まし時計を設定したのは日本が初めてでした。ドイツでは、ゴミを出すため、住宅やマンションなどの前に、大型のゴミ容器が置いてあります。

古紙と有機系廃棄物のゴミ容器は市や業者が無料で用意して、定期的に回収し、リサイクルすることができます。できない廃棄物の回収は有料になっています。ゴミ出しに関する経費を減らすため、ゴミをちゃんと分別して、出来るだけリサイクル用のゴミ容器を使用したほうがお得です。そして沼田市のように包装材などのプラスチックのための黄色のゴミ袋もあります。プラゴミのリサイクル料は商品を作っている製造会社の負担となります。包装廃棄物は小さくて、薄い程、リサイクル料が安くなります。その理由で、製造会社は出来るだけ商品の包装廃棄物を減らすようにしています。



透明・青・茶色ガラス瓶用のゴミ容器（左）
と古着回収するための容器（右）



左から古紙・廃棄物・有機系廃棄物のゴミ容器

ガラス瓶はそれぞれ色に組分けて、回収できるようなガラス用のゴミ容器があります。古着回収の容器もありますが、まだ使えそうな古着だけを入れて、貧しい人々などに提供されるようになります。再利用可能なガラス瓶、ペットボトル、そして缶にはデポジット（ドイツ語：プファント）が付いています。空の瓶、ペットボトルや缶を店に返す時は、そのデポジットが支払われます。もちろん、普通のゴミ箱、またはゴミを捨ててはいけないところにペットボトルを捨てる人がまだいます。ただし、「デポジット狩り」をしている人がいて、お金に交換するために捨てられたペットボトルを探して、お店に返したりする人もいます。返されたペットボトルはリサイクルして、新しいペットボトル、ホイルやポリエステル商品などにかわります。ゴミの分別に関する細かいルールは日本だけではなく、ドイツにもあります。ゴミを捨てる前に分別するのは時間がかかりますが、環境のためにリサイクルすることが大事ですので、頑張りましょう！

Mülltrennung ist
wichtig!
(リサイクルする
ことが大事!)



作者：クリスティーネ・バウアー（ティーネ）
問い合わせ：c.bauer@city.numata.gunma.jp
👩🍳 クックパッド：沼田市のキッチン